

学力検査等の内容および合否判定の方法・基準

鎌倉女子大学大学院

【一般選抜】

筆記試験（①外国語：英語、②専門科目）および研究調書に基づく面接試験の総合評価により選考する。面接試験は第1面接と第2面接の2回とする。第1面接においては、主として「研究目的および目的を達成する基礎的学力」・「研究計画の妥当性」等について評価し、第2面接においては、「人物（人物・人柄、意欲・気力、独創性、探究心、行動力・実行力、研究科としての期待度など）」および「研究計画の妥当性」等を総合し、入学させるにふさわしい人物か否かを視点を面接する。

【社会人特別選抜】

最終教育機関を修了後、3年以上の社会経験(専業主婦を含む)がある者を対象とし、筆記試験（専門科目）および研究調書に基づく面接試験の総合評価により選考する。面接試験は第1面接と第2面接の2回とする。第1面接においては、主として「研究目的および目的を達成する基礎的学力」・「研究計画の妥当性」等について評価し、第2面接においては、「人物（人物・人柄、意欲・気力、独創性、探究心、行動力・実行力、研究科としての期待度など）」および「研究計画の妥当性」等を総合し、入学させるにふさわしい人物か否かを視点を面接する。

【内部推薦】

鎌倉女子大学4年次生を対象とし、学部在席中の成績により推薦Aと推薦Bの2区分に分けて選考する。推薦Aは書類審査および研究調書に基づく面接試験、推薦Bは書類審査・筆記試験（専門科目）および研究調書に基づく面接試験の総合評価により選考する。面接試験は第1面接と第2面接の2回とする。第1面接においては、主として「研究目的および目的を達成する基礎的学力」・「研究計画の妥当性」等について評価し、第2面接においては、「人物（人物・人柄、意欲・気力、独創性、探究心、行動力・実行力、研究科としての期待度など）」および「研究計画の妥当性」等を総合し、入学させるにふさわしい人物か否かを視点を面接する。